

# 花粉症とその治療



空港前クリニック耳鼻いんこう科

川崎 克



空港前クリニック

# 新潟の花粉症



# スギ花粉飛散開始日（新潟市）

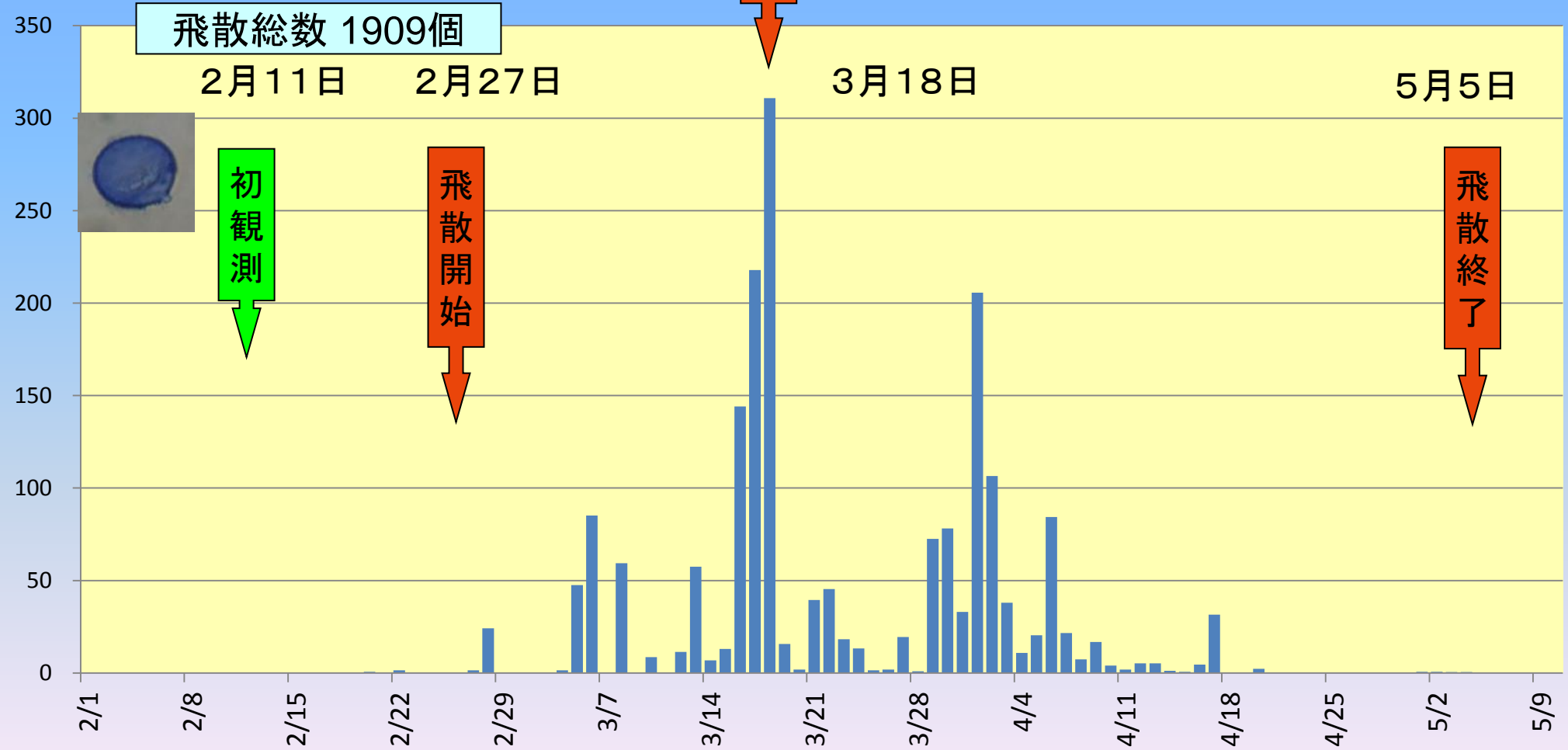
NPO 花粉情報協会

- 2005年 3月10日
- 2006年 3月04日
- 2007年 2月13日
- 2008年 2月29日
- 2009年 2月13日
- 2010年 3月04日
- 2011年 2月23日
- 2012年 3月14日
- 2013年 2月28日（当院3月06日）
- 2014年 3月12日（当院3月17日）
- 2015年 2月22日（当院3月02日）
- 2016年 2月28日（当院2月27日）

# スギ花粉飛散数(新潟市) 2016年

個/cm<sup>2</sup>

(空港前クリニック)



空港前クリニック

(空港前クリニックデータ)

(10月31日までデータ)

# 2016年 イネ科花粉飛散

個/cm<sup>2</sup>  
15



9月25日イネ科 秋 最大飛散

5月24日イネ科 春 最大飛散

10

5

0

1 11 21 1 11 21 31 10 20 30 10 20 30 9 19 29 8 18 28 8 18 28

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月



空港前クリニック

# 2016年 ブタクサ花粉飛散 (空港前クリニック) (10月31日までのデータ)

個/cm<sup>2</sup>

10

9

8

7

6

5

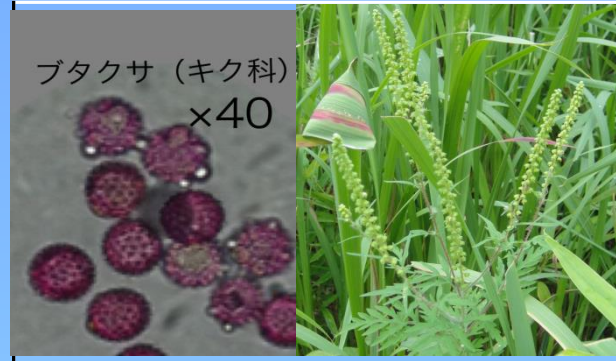
4

3

2

1

0



9月5日ブタクサ最大飛散



1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 5 10 15 20 25 30  
8月 9月 10月



空港前クリニック

# 2016年 ヨモギ花粉飛散 (空港前クリニックデータ)

(10月31日までのデータ)

個/cm<sup>2</sup>

50

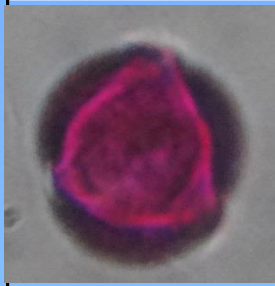
40

30

20

10

0



9月24日ヨモギ最大飛散

1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 5 10 15 20 25 30  
8月 9月 10月



空港前クリニック

# 2016年 花粉患者 受診数

(空港前クリニックデータ)  
(10月31日までのデータ)

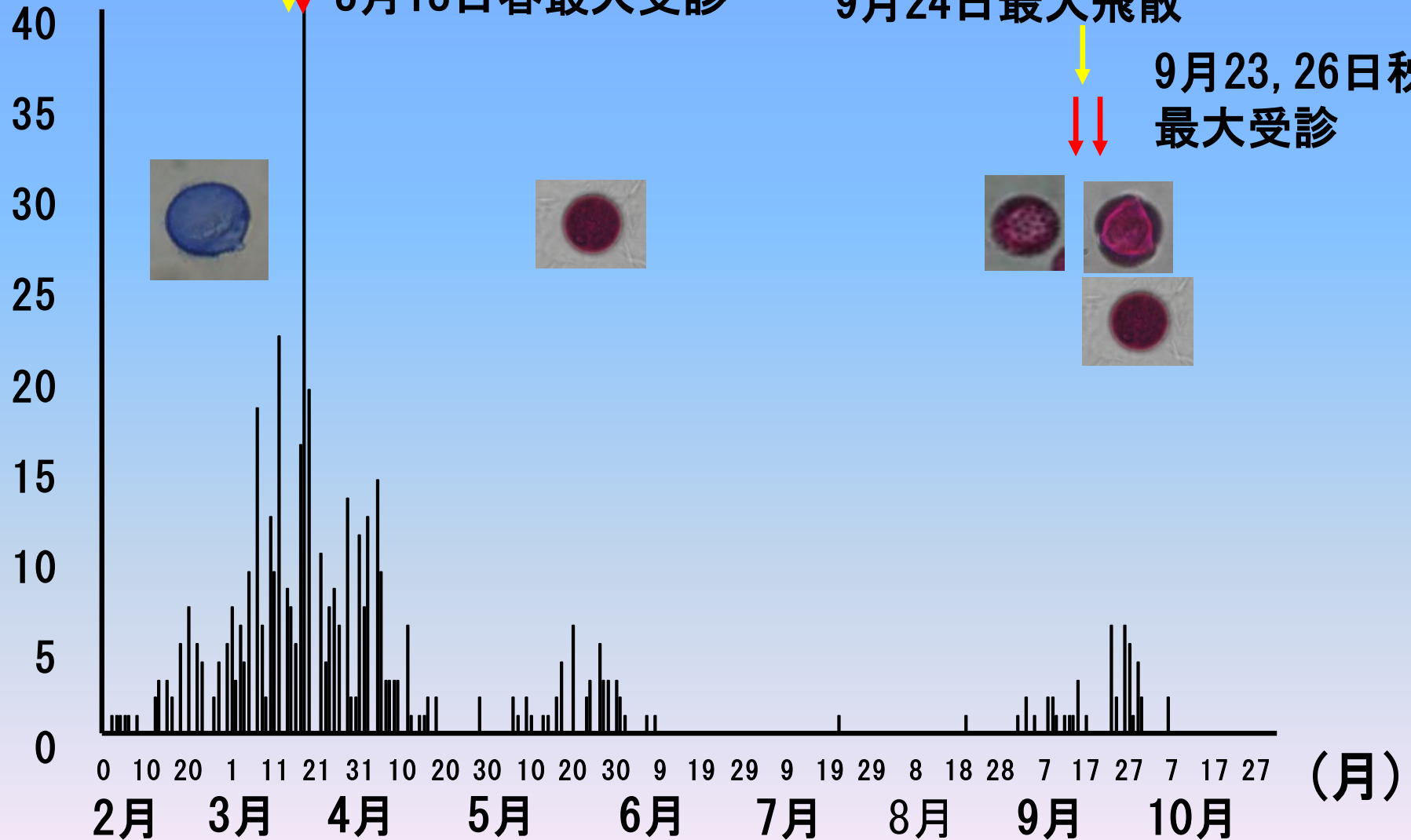
(例)

3月18日最大飛散

3月18日春最大受診

9月24日最大飛散

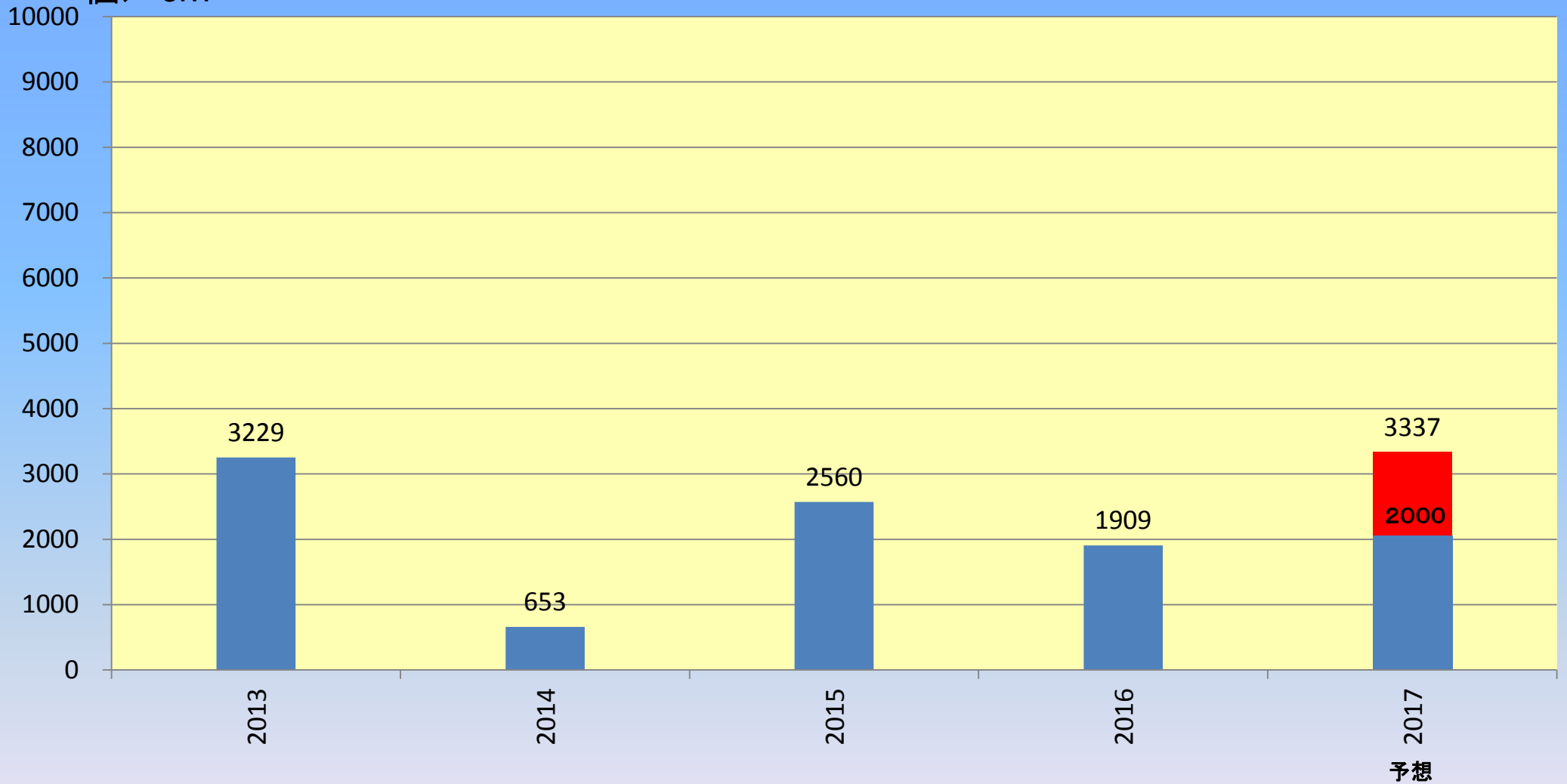
9月23, 26日秋  
最大受診





# スギ花粉飛散数(新潟)

個/cm<sup>2</sup>



■ NPO花粉情報協会 ■ 空港前クリニック



空港前クリニック

# アレルギー性鼻炎（季節性）

## スギ花粉症

3歳からみられ、5歳頃から増加する。

（空港前クリニックデータ）

スギ ヒノキ シラカバ・ハンノキ

イネ科（オオアワガエリ、カモガヤ）

キク科（ヨモギ、ブタクサ） カナムグラ



# アレルギー性鼻炎の診断

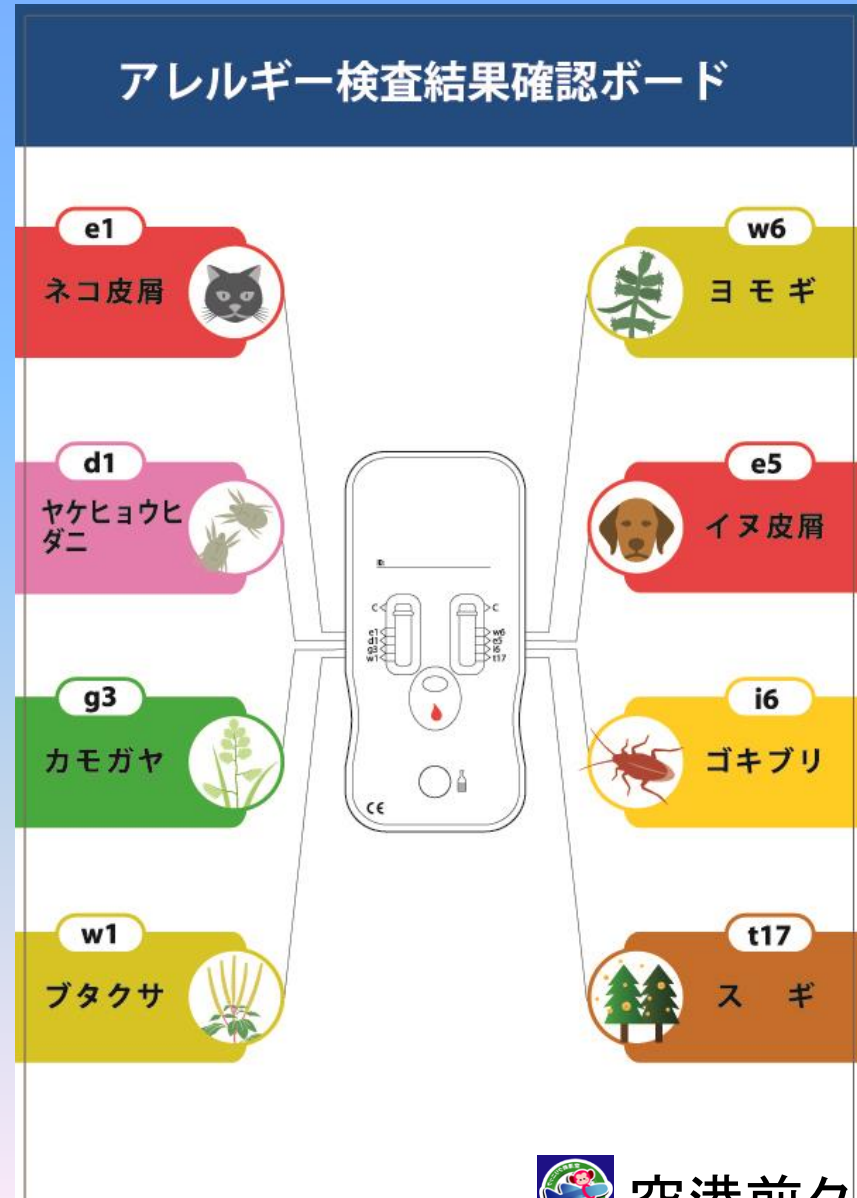
鼻症状：鼻閉、鼻汁、くしゃみ

## 検査

1. 血液検査（RAST） 皮内テスト
2. 鼻汁好酸球の検査
3. 鼻内誘発検査



# ImmunoCAP<sup>®</sup> Rapid



# Imuno CAP<sup>®</sup> Rapid

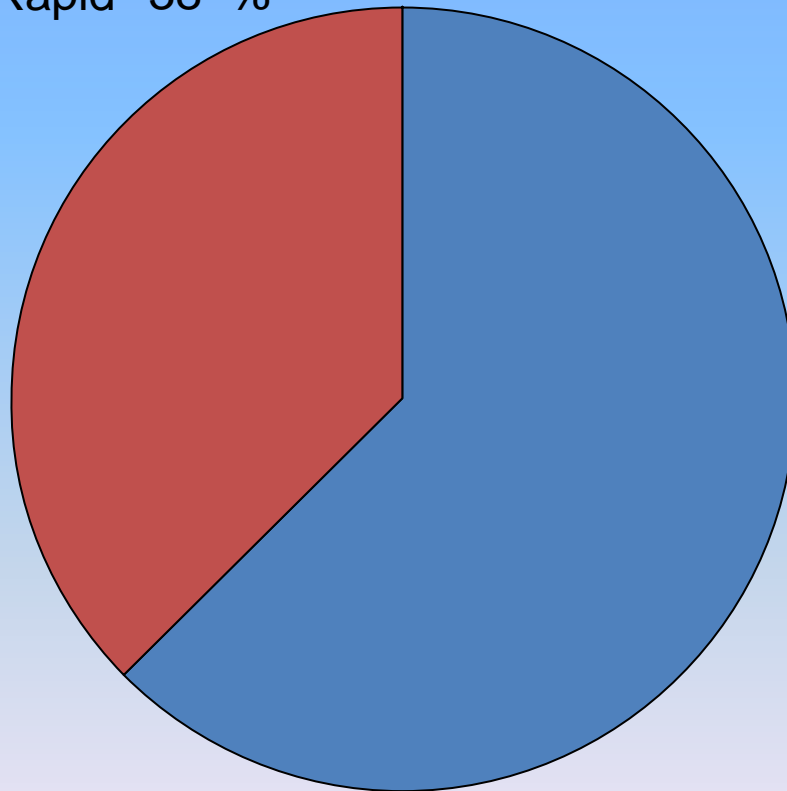


# RAST 施行 患者割合 583例

2014年6月～16年6月

空港前クリニック耳鼻科データ

Imuno CAP<sup>®</sup>Rapid 38 %



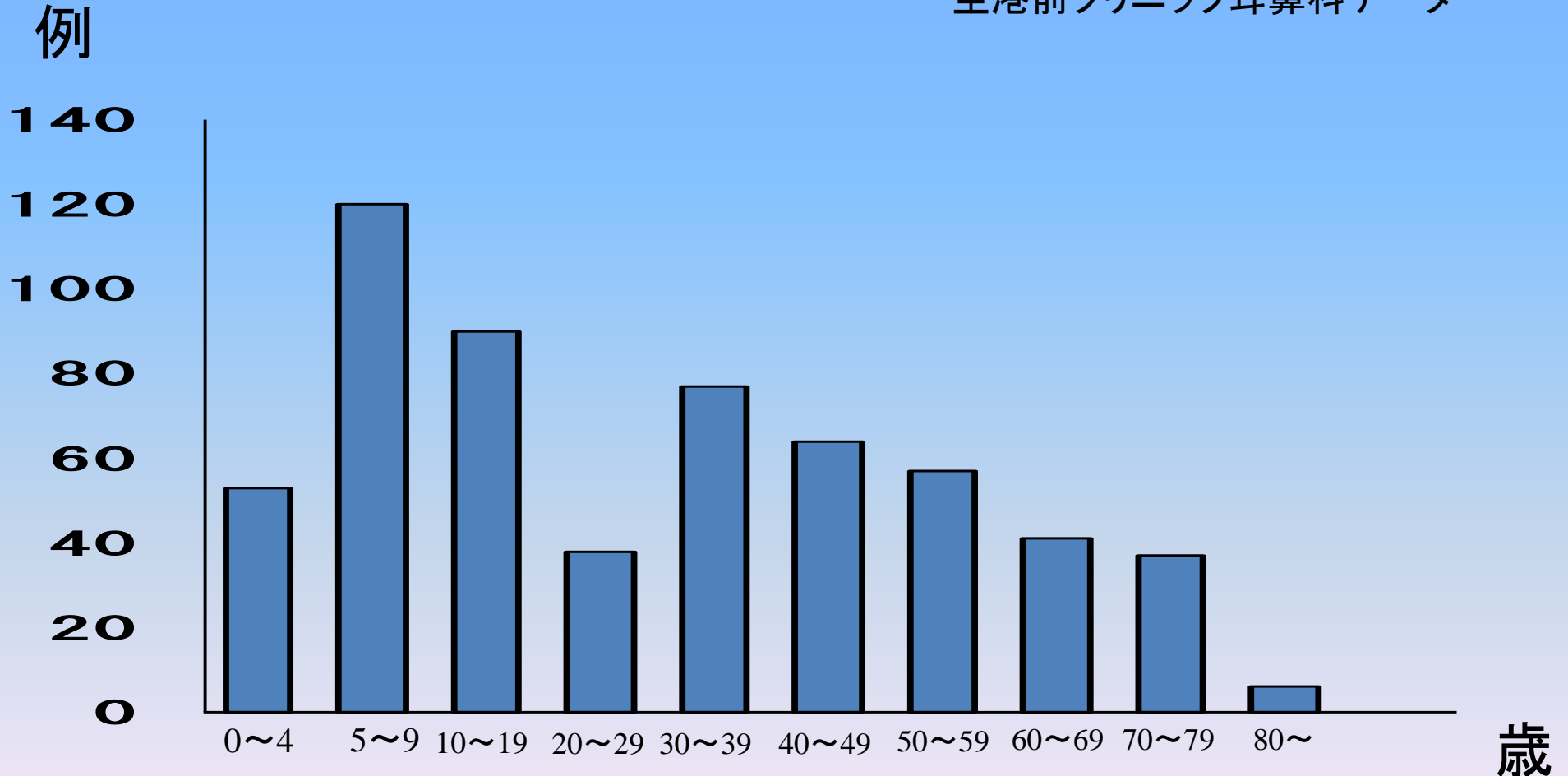
Imuno CAP<sup>®</sup> 62 %



# RAST 検査陽性年齢

219例 2014年6月～16年6月

空港前クリニック耳鼻科データ

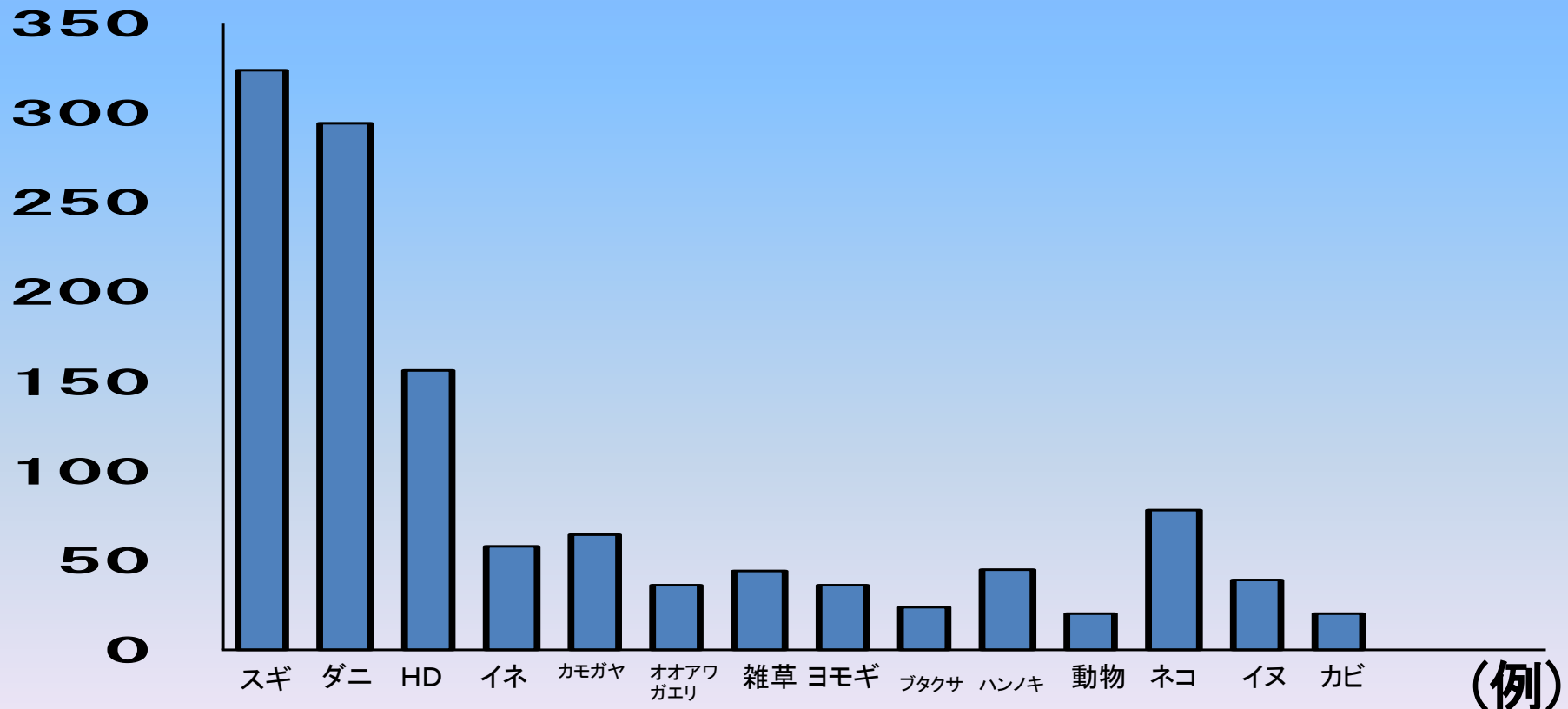


# RAST 陽性分類 (重複あり)

RAST 陽性 2014年6月～16年6月

空港前クリニック耳鼻科データ

(例)



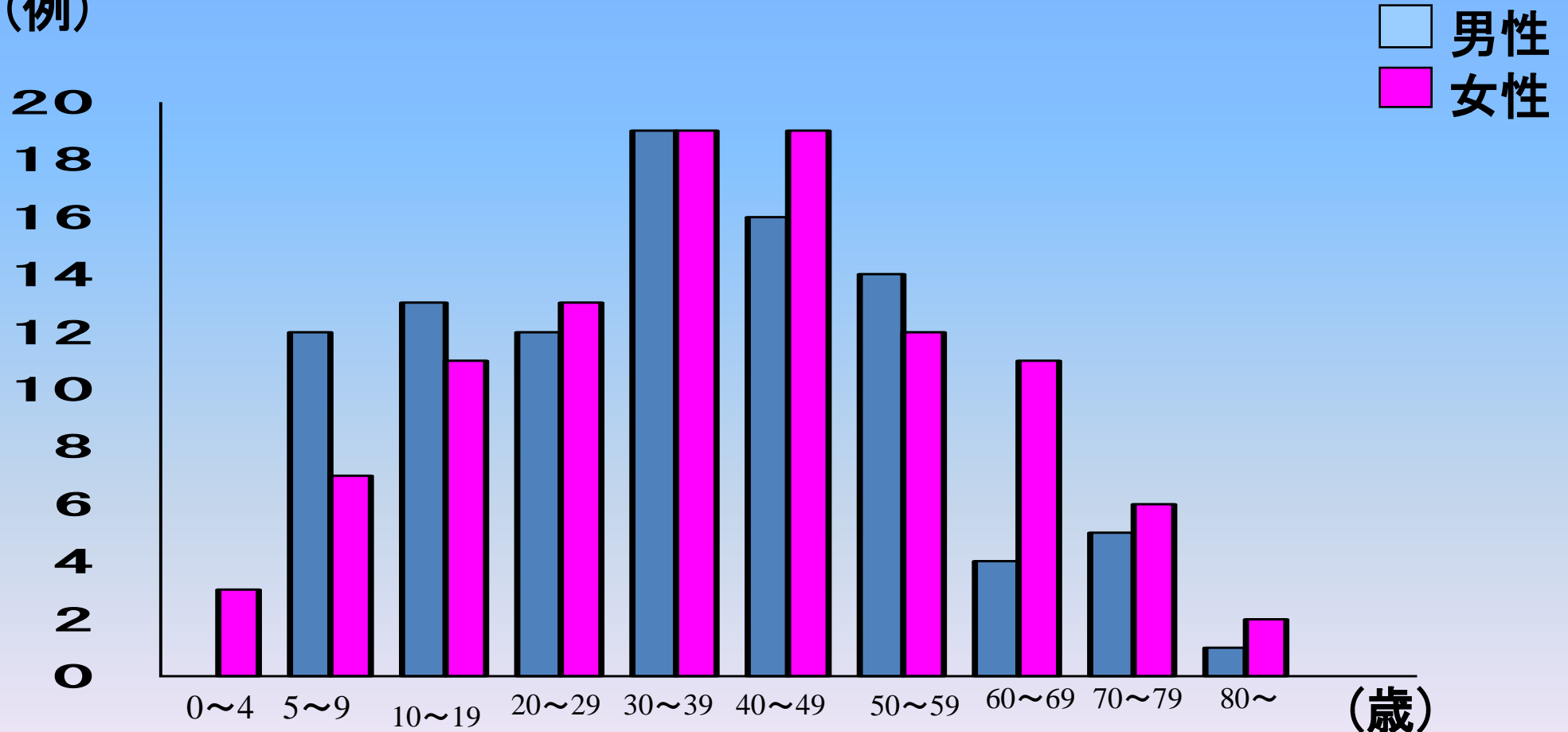


# スギ花粉症患者検査年齢

RAST 陽性 2014年6月～16年6月

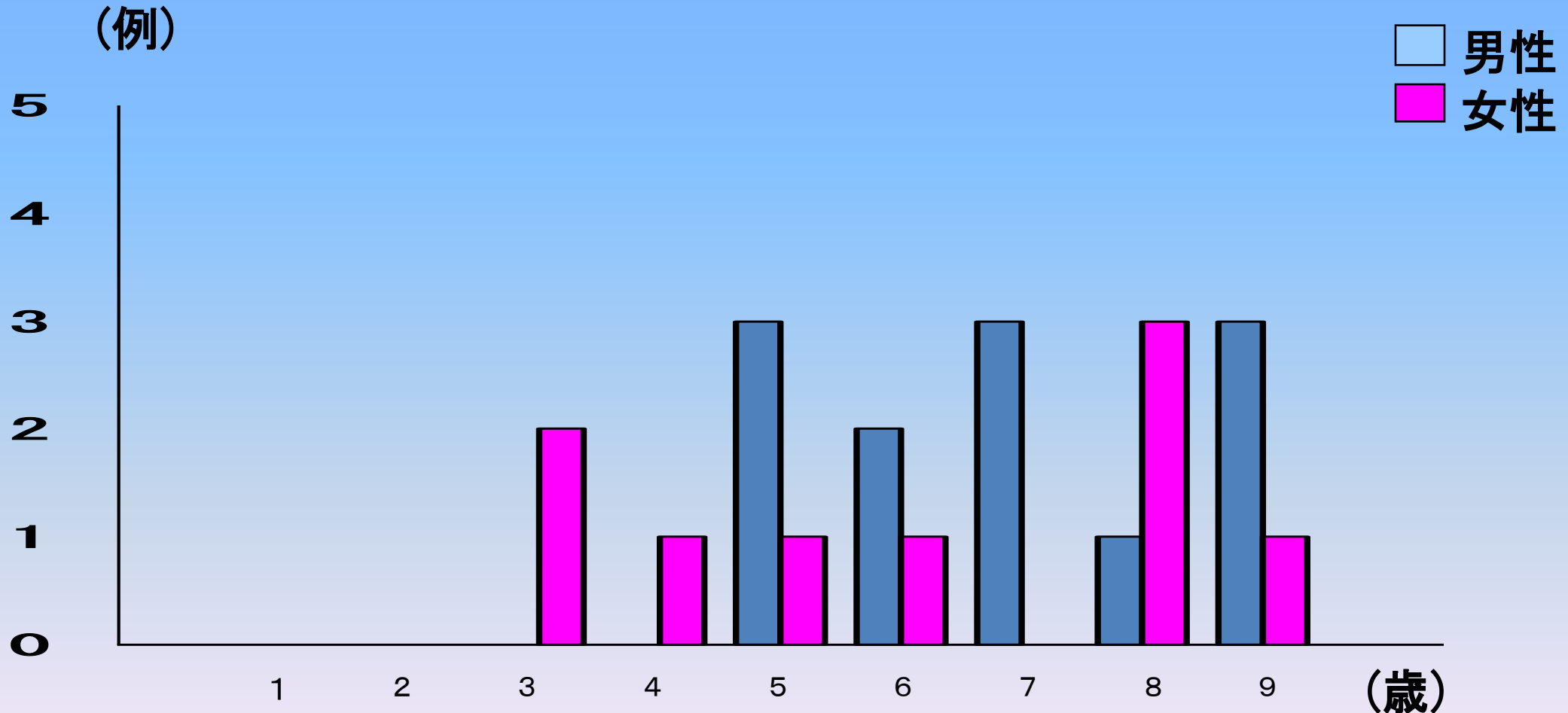
空港前クリニック耳鼻科データ

(例)



# スギ花粉症患者検査年齢（10歳未満）

RAST 陽性 2014年6月～16年6月  
空港前クリニック耳鼻科データ



# 治療



# アレルギーの治療

1. 抗原（ダニ、花粉など）回避
2. 内服薬・点鼻薬等による治療
3. 減感作療法（皮内注射、舌下免疫療法）
4. 手術治療（レーザーなど）



# アレルギーの治療（抗原回避）

## ダニ、HDの場合

ベッド、布団、カーペットなどホコリに注意

ダニとり用の掃除機　ダニ対策用布団クリーナー

布団をまめに干す



## 花粉など

花粉用メガネ、マスク、帽子、その他グッズを使用する  
花粉の付着し難い服装、付着した服の花粉をはらう。

雨上がりの晴れ・晴れ・高温・強風の日に出外・洗濯を控える

新聞、テレビ、インターネットの花粉情報みる



# アレルギーの治療（薬物療法）

## 基本治療

抗アレルギー薬・抗ヒスタミン薬、ステロイド<sup>※</sup>点鼻薬  
鼻閉が強い場合

粘膜の腫脹をとる点鼻薬

## 花粉症では

症状がでる前から内服開始（初期治療）

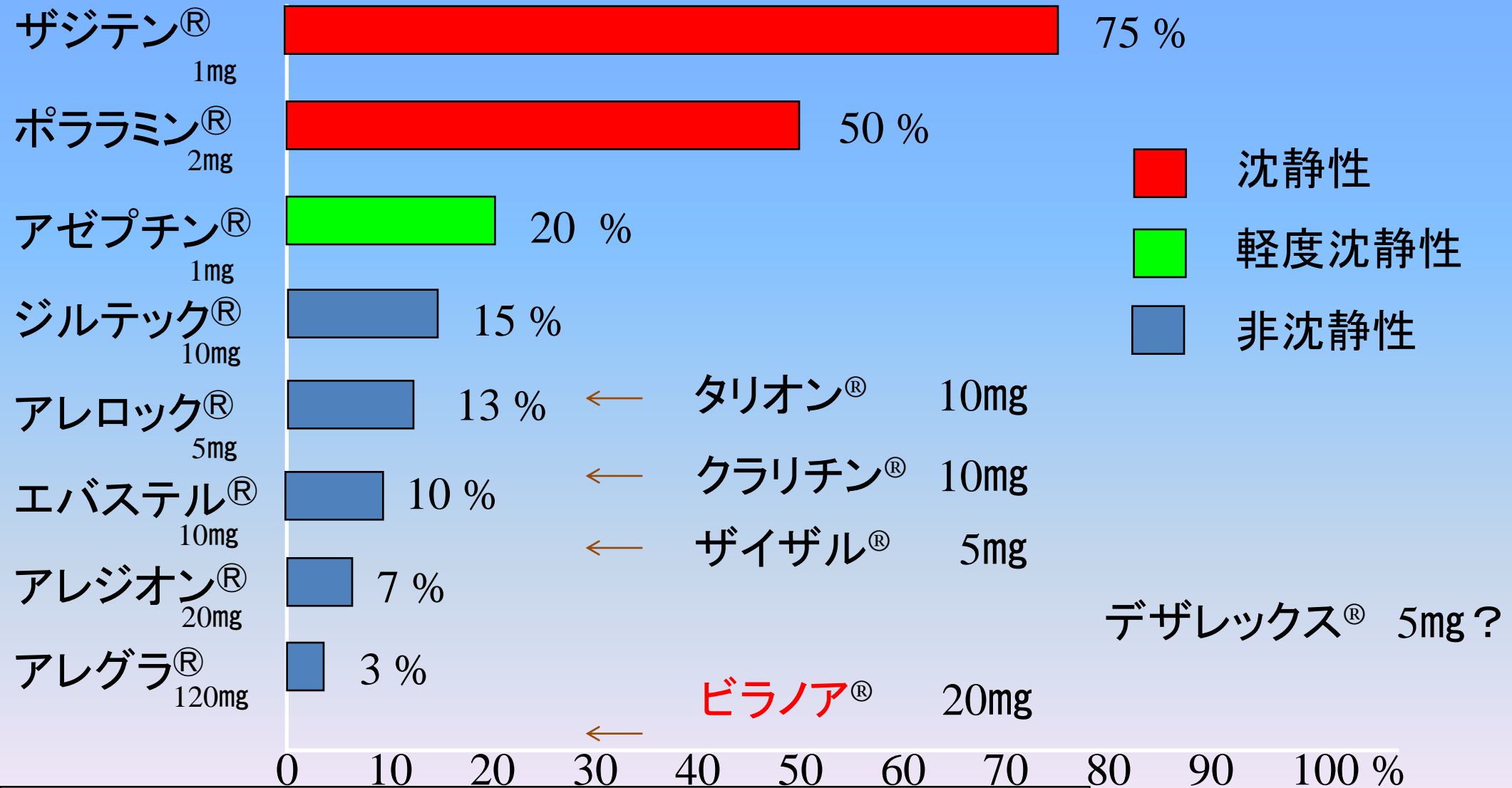
遅くとも花粉がピークになる前から治療



# アレルギー性鼻炎の治療（花粉症）

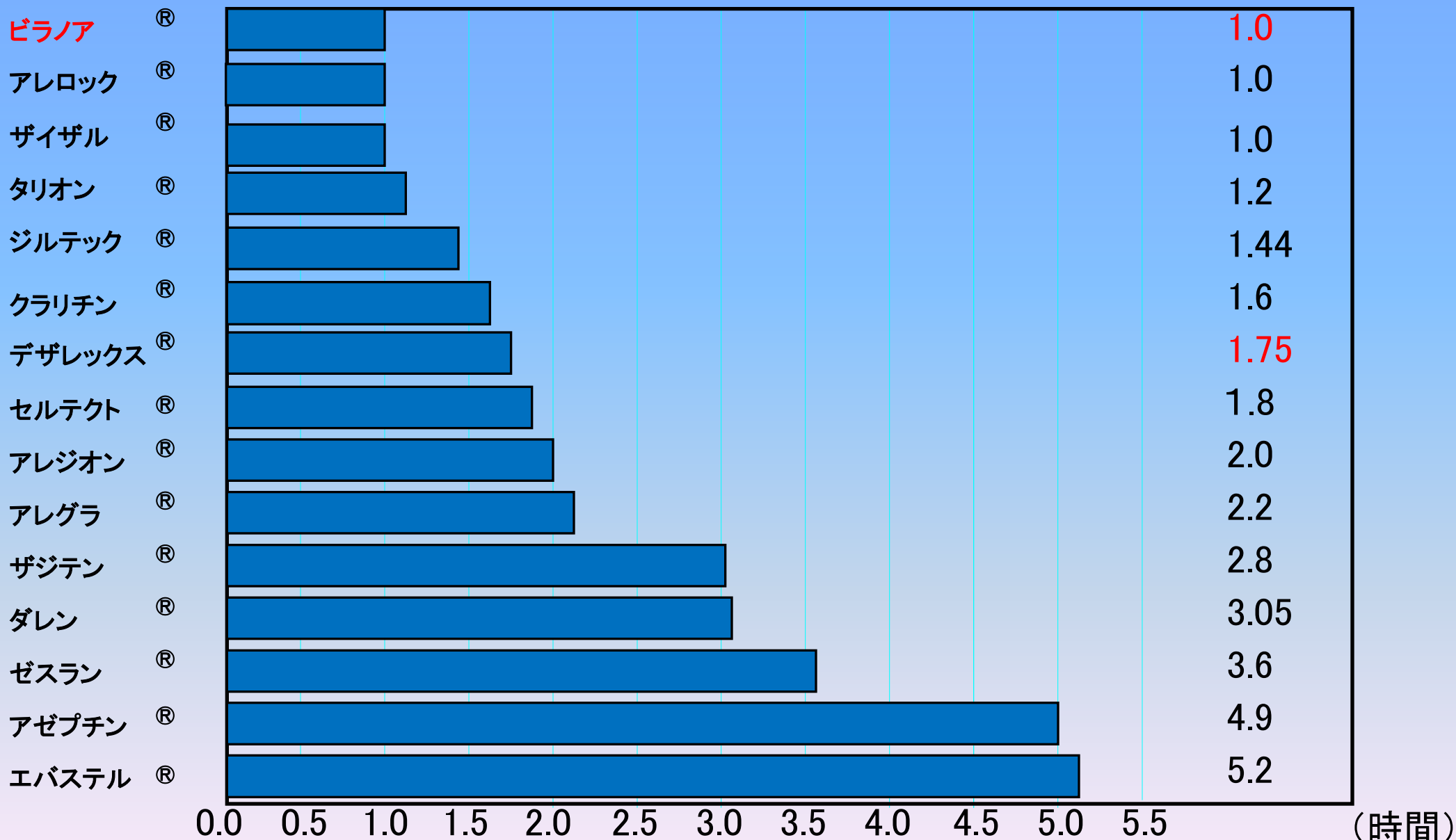
重症度	初期治療	軽症	中等症		重症・最重症		
病型			くしゃみ 鼻漏型	鼻閉型または鼻閉 を主とする完全型	くしゃみ 鼻漏型	鼻閉型または鼻閉 を主とする完全型	
治療	1.第2世代抗Hi薬 2.遊離抑制薬 3.抗LTs薬 4.抗PGD2・TXA2薬 5.Th2サイトカイン阻害薬 6.鼻噴霧用ステロイド薬  くしゃみ・鼻汁型 には1,2,6 鼻閉型または鼻閉を主 とする完全型には 3,4,5,6のいずれか1つ	1.第2世代抗Hi薬 2.遊離抑制薬 3.抗LTs薬 4.抗PGD2・TXA2薬 5.Th2サイトカイン阻害薬 6.鼻噴霧用ステロイド薬  1~6のいずれか一 つ。1~5で治療を開 始したときは必要に 応じて6を追加	第2世代抗Hi薬 + 鼻噴霧用 ステロイド薬	抗LTs薬または 抗PGD2・TXA薬 + 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗Hi薬	鼻噴霧用 ステロイド薬 + 第2世代抗Hi薬	鼻噴霧用 ステロイド薬 + 抗LTs薬または 抗PGD2・TXA2薬 + 第2世代抗Hi薬  もしくは 鼻噴霧用ステロイド薬 + 第2世代抗Hi薬・ 血管収縮薬配合剤	
				もしくは 第2世代抗Hi薬・ 血管収縮薬配合剤 + 鼻噴霧用 ステロイド薬		必要に応じて点鼻用血管収縮 薬を治療開始時の1~2週間に 限って用いる。鼻閉が特に強 い症例では経ロステロイド薬を 4~7日間処方して治療開始す ることもある。	
		点眼用抗ヒスタミン薬または遊離抑制薬			点眼用抗ヒスタミン薬遊離抑制薬またはステロイド薬		
	アレルギー免疫療法					鼻閉型で鼻腔形態異常を伴う症例は手術	
	抗原除去、回避						

# 抗ヒスタミン薬脳内ヒスタミンH1受容体占拠率





# 主な抗ヒスタミン薬の最高血中濃度到達時間 (T-max)

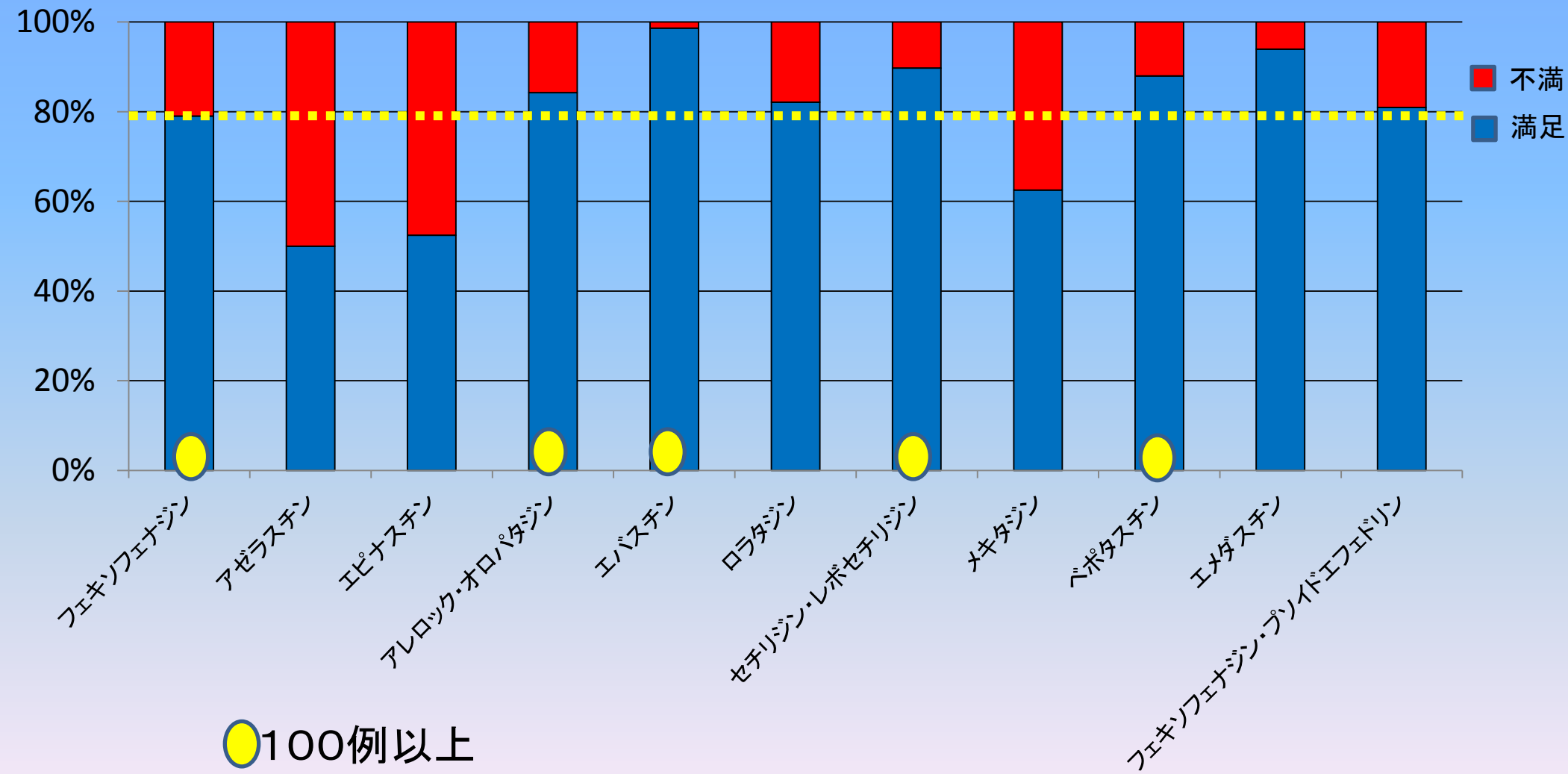


添付文書などより

# 内服薬に対する満足度

1剤のみ記載されているアンケートを選択

2016年度新潟県スギ花粉症調査



第2世代のさらに新しい抗ヒスタミン剤は満足度が高い



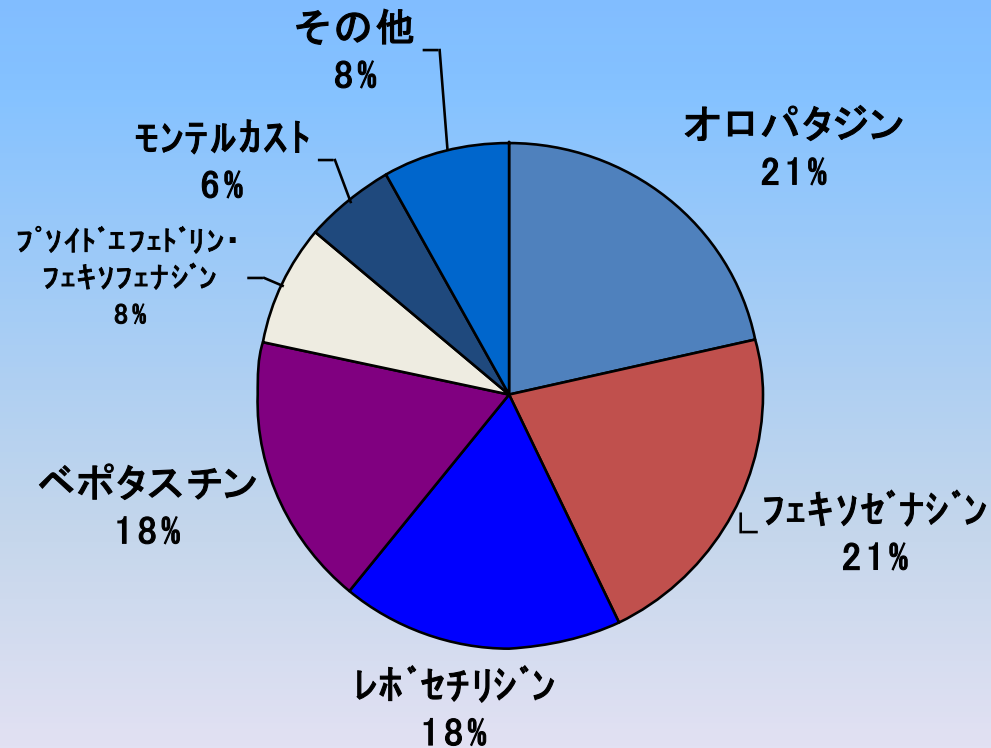
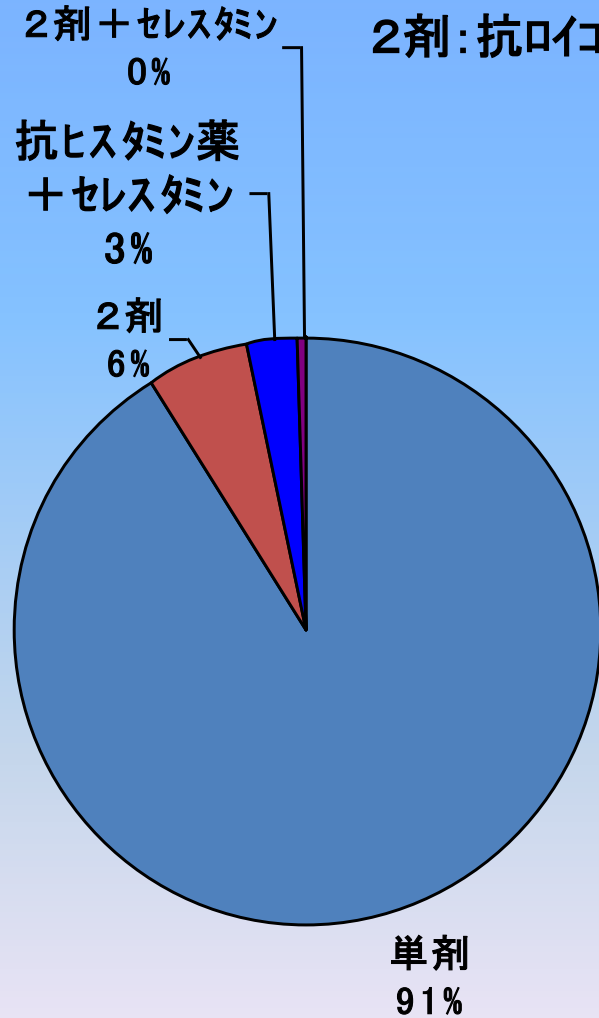
空港前クリニック

# 花粉症内服薬法

213例  
重複あり

2014年6月～16年6月  
空港前クリニック耳鼻科データ

### 2剤: 抗ロイコトリエン薬 + 抗ヒスタミン薬



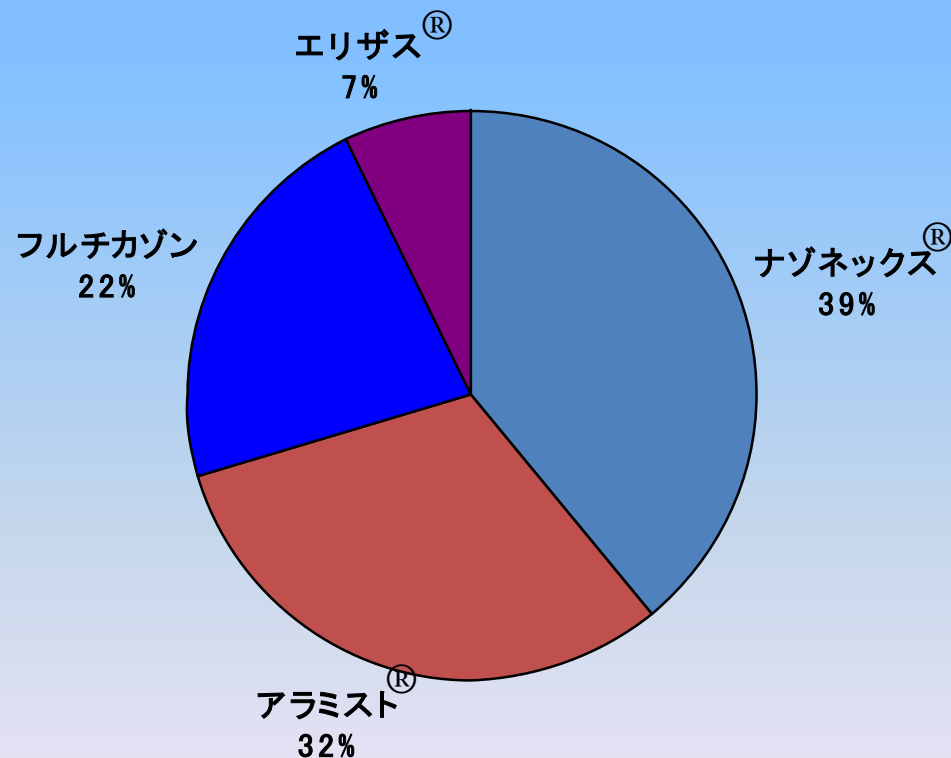
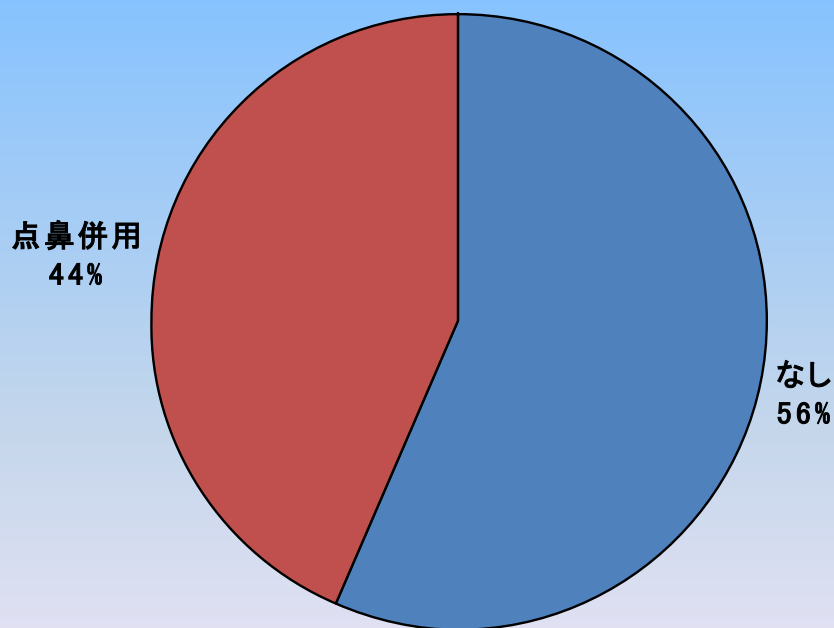
その他内訳  
エピナスチン  
セチリジン  
ロラタジン  
エバスチン  
アゼラスチン  
برانルカスト  
クレマスチン



# 花粉症点鼻併用 213例

2014年6月～16年6月

空港前クリニック耳鼻科データ



# アレルギーの治療（舌下免疫療法）

平成26年10月からスギ花粉症に対する舌下免疫療法が開始された。

平成27年11月からダニに対する舌下免疫療法が開始された。

## 適応

12歳以上で検査を行い、スギ抗原陽性で花粉症と診断された方、  
ダニ抗原陽性でアレルギー性鼻炎と診断された方

## 治療法

舌下に内服薬を滴下する。舌下に数分保持してから内服する。

2週から4週間に一度受診してもらい、状態の確認を行う。

3～5年継続

## 欠点

アナフィラキシーショックをまれに起こす



# 舌下免疫療法 当院の手順

## 希望患者がいる場合

- 1 回目. 舌下免疫療法の簡単な説明、問診、RASTを行う。次回の予約する。
- 2 回目. 鳥居製薬作成の説明書を使用して20~30分で説明、次回の予約する。
- 3 回目. 確認チェックシートにサインをもらう。カードを渡す。院内で内服を行う。30分間、副作用の有無を確認。次回予約をとる。



鳥居製薬株式会社 鳥居製薬株式会社

私はスギ花粉エキスによる舌下免疫療法を行っています

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_  
生年月日 期・大・日・年 月 日生  
〒 \_\_\_\_\_ 医療機関名/連絡先 \_\_\_\_\_ 電話( ) \_\_\_\_\_  
かかりつけ 医療機関 \_\_\_\_\_ 電話( ) \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_ 緊急時連絡先 \_\_\_\_\_ 電話( ) \_\_\_\_\_

鳥居製薬株式会社 本カードは必ず携帯してください

シダトレンを服用される患者さんへ

- シダトレンの調剤を受ける際は、薬剤師の先生に本カードをご提示ください。
- シダトレン服用後少なくとも30分間は、次のような症状に特に注意してください。  
症状が現れた場合、直ちに医療機関を受診してください。

**アナフィラキシーの前兆**

皮膚の症状	腫痛疹、そう痒感、紅斑、皮膚の発赤などが全身に現れる
消化器の症状	胃痛、吐き気、嘔吐、下痢など
目の症状	視覚異常、視野の狭窄など
呼吸器の症状	鼻がつまる、くしゃみ、声がかれる、喉のそう痒感、胸のしめつけ感、呼吸困難、咳、呼吸の音がゼーゼーヒューヒューする、ターンゼンなど
循環器の症状	頻脈、不整脈、血圧低下など
神経の症状	不安、恐怖感、意識の混濁など

シダトレンスギ花粉エキス舌下液 確認チェックシート

治療に関すること

- 本薬剤が処方されていない等通知を受け、再発症の恐れを確認いたしました。
- 中食ともし同じ様、定期的に服用いたしました。
- すべての患者さんに治療を完了していただくことが重要にいたしました。
- 治療の目的、用法、副作用、その他注意点がよく理解されたことを確認いたしました。
- 治療を完了、終了する際には医師と相談することを理解いたしました。

副作用に関すること

- 処方された薬の用法、副作用が十分に理解されたことを確認いたしました。
- 処方された薬の用法、副作用が十分に理解されたことを確認いたしました。
- 処方された薬の用法、副作用が十分に理解されたことを確認いたしました。
- 処方された薬の用法、副作用が十分に理解されたことを確認いたしました。

副作用に関すること

- シダトレンを服用後少なくとも30分間は、副作用の有無を確認いたしました。
- シダトレンを服用後少なくとも30分間は、副作用の有無を確認いたしました。
- シダトレンを服用後少なくとも30分間は、副作用の有無を確認いたしました。
- シダトレンを服用後少なくとも30分間は、副作用の有無を確認いたしました。

上記内容について説明を受け、理解しました。  
\_\_\_\_\_ 年 月 日  
氏名 \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_



# 舌下免疫当院治療

空港前クリニック耳鼻科データ

スギ花粉症 シダトレン<sup>®</sup>

年齢 性別 治療期間

副作用

副作用期間

- 56歳 男 2014年11月～
- 52歳 男 2015年 6月～
- 41歳 男 2015年 6月～
- 59歳 男 2015年 6月～
- 29歳 男 2015年10月～

なし

なし

舌下腫脹 内服1時間程度

咽頭違和感

なし

開始2か月

開始2か月

ダニ ミテキュア<sup>®</sup> アシテア<sup>®</sup>

16歳 女 2016年12月～

2016年12月より1例開始

舌下腫脹 咽頭違和感

開始当日～



空港前クリニック